



壇上で質問をする子ども議員

旭市子ども議会

22人の子ども議員が登壇

子どもたちが議会の体験を通し、地方自治制度や地方議会制度についての理解を深め、市政への関心を高めるとともに意見を市政に反映させようと、旭市子ども議会が7月26日、市議会議場で開催されました。

議員となった22人の市内小中学生は真剣なまなざしで登壇し、高齢者の住環境や公園の整備、児童館の新設など身近な問題をテーマに質問などを行いました。

あした  
未来への道1000km縦断リレー

たすきに思いを込めてつなぐ道のり

スポーツを通じた東日本大震災の被災地復興支援、風化の防止などを目的に、青森から東京までをたすきでつなぐ縦断リレーが、8月5日と6日に市内を通過しました。

6日には旭スポーツの森公園でスタート式が行われ、元オリンピック陸上競技代表の千葉真子さんや元競泳代表の伊藤華英さんも参加する中、市内在住の石毛恵子さんがランナーを代表して宣誓を行いました。ミスあさひや中学生などの応援を受けたランナーたちは、この日のゴールとなる船橋市を目指してスタートしました。



旭スポーツの森公園をスタートするランナーたち

8月19日 幽学ゆかりの地で  
伝統の草履作りを学ぶ

要らなくなった生地を再利用し、伝統的な草履の作り方を学ぼうと、幽学工房「布ぞうりつくり」が大原幽学記念館で行われました。今回初めて参加したという受講生の一人は「テレビなどで、布草履はスリッパよりも健康にいいと聞いて、欲しいと思っていた」などと話していました。



講師の手元を見つめ編み方を学ぶ

8月18日 市内のPTAが  
バレーボールで交流



2枚ブロックをかわし攻撃する

PTAバレーボール大会が総合体育館で開催されました。20チームが3ブロックに分かれて競い合い、干潟小、共和小、矢指小がそれぞれ優勝しました。会場では応援に駆け付けた仲間や家族から、盛大な応援が送られていました。3チームは10月14日(日)に開催される東総大会に出場します。

8月14日 千葉県初 飯岡灯台が  
「恋する灯台」に認定

飯岡灯台が「恋する灯台」に認定され、認定書が明智市長に手渡されました。これは登録した灯台を地域の観光資源としてまちづくりに役立ててもらおうと、一般社団法人日本ロマンチスト協会が認定するもの。市長は「この登録を機に多くの人に訪れてもらいたい」と話しました。



認定書が市長に手渡される



旭市のさまざまな情報を  
Facebookで公開しています。  
旭市 フェイスブック

検索



# あさひ 見聞録

けん

ぶん

らく

## 第14回旭市民音楽祭

# 音楽でつながる真夏の祭典



②



①



③

真夏の音楽の祭典、旭市民音楽祭が8月5日に東総文化会館で開催されました。

大ホールでは吹奏楽や金管アンサンブル、ピアノ、合唱など、小ホールではロックやポップスなどの演奏が行われ、ジャンルを超えたさまざまな音楽が訪れた来場者を魅了しました。

- ①心地よい歌声が会場に響く
- ②パワフルな管楽器と伝統的な箏の協演
- ③小ホールでのバンド演奏

## 7月30日 8月3日 子どもたちとサッカーで交流



ミニゲームでボールを取り合う

ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15の選手13人が、選手育成の一環として農家に宿泊しながら、農業体験などを行いました。この日、スポーツの森公園ではスポーツ少年団などを対象にサッカー教室も行われ、子どもたちと一緒にボールを追いかける選手の姿がありました。

## 7月28日 8月3日 ドイツの子どもたちと卓球で交流

ドイツデュッセルドルフ市との卓球交流事業が、総合体育館で開催されました。ドイツから8人の選手と2人のコーチを迎え、歓迎レセプション、県内の高校生たちとの交流練習や練習試合が行われました。また市内外の施設見学や書道体験など、日本文化にも触れました。



ドイツ選手との交流練習

## 7月17日 移住や暮らしの体験からまちづくりについて考える



旭の印象について話す参加者

旭に移住してきた人やUターンした人、ずっと旭に住んでいる人など、30代～40代の市民7人による、まちづくり座談会が市役所南分館で開催されました。座談会ではそれぞれの立場から、旭の印象や良いところなどについての意見交換が行われたほか、まちづくりについての提案がされました。